

生連協だより

vol.94

発行 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030 会長校：神奈川工科大学 TEL：046-291-3249

編集担当 桜美林大学・国際武道大学・国士舘大学・二松學舎大学

印刷 株式会社 エムディーエス

講演会 Report

平成26年度第3回講演会が、二松學舎大学九段キャンパス1号館中洲記念講堂にて開催された。

第3回 講演会レポート

通算
104回

▶講師 金沢大学 大学教育開発・支援センター 副センター長 教授 青野 透 氏

▶演題 「障害者差別解消法」成立の背景と法律の目指すところ -「合法的配慮」を中心に-



平成25年6月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定され、一部の附則

を除き平成28年4月1日から施行されることとなりました。この法律に基づき、大学教育においても障害を持つ学生に対して合理的配慮を行うことが義務付けられました。

各大学とも、この合理的配慮については、今後、大きな検討課題となることから、この分野の第一人者である青野先生に講演をお願いしました。

青野先生は法学の教員ですが、ある障害をもつ学生との出会いにより、まず目の前にいる障害学生の人権から取り組むべきと考え、障害学生支援に携わるようになったと言います。今回の「障害者差別解消法」に定められた合理的配慮についても、まず「義務」として捉えるのではなく、大学においては、高等教育を受ける権利は無条件で守られるべき「人権」の一部であることを認識し、教員・職員の区別なく支援する体制を整えなければならないと説明されました。また、そうした支援体制が、各大学の教育力をはかることとなるとの説明もありました。

青野先生の講演はクリッカーシステムを用いたり、また聴衆者をグループに分けて演習を行ったりと参加型であったことから、講演の内容をより深く理解できたと思います。

障害学生に対する合理的配慮は、その具体的方策などの検討に苦慮されると思いますが、今回の講演が一助となれば幸いです。

通算
105回

▶講師 金沢大学 大学教育開発・支援センター 特任助教 濱田 里羽 氏

▶演題 開かれた支援と学内連携による実践報告(カウンセラーも含めた教職員の連携)



臨床心理士で、スクールカウンセラーの経験が豊富な濱田先生から、カウンセラーと教職員が連携して行った、「コミュニケーションサポートセミナー」・「タイムマネジメントプロジェクト」という、2つの実践紹介がなされました。

「コミュニケーションサポートセミナー」は、1回90分から100分程度で、前半に会話練習や社会のマナーなどのエクササイズとレクチャーを行い、後半に「プチ困ったを解決しよう」というタイトルでフリートークを行うという内容です。

「タイムマネジメントプロジェクト」は、3ヶ月間のToDoリストと週間予定表をつけ続け、一言振り返りを行うものです。また、この期間中に3回のセミナーを行い、参加した学生の変化などを情報交換するという内容です。

2つの実践報告を通して、セミナーやプロジェクトというのは、

学生の本来の居場所ではなく、授業や教室、サークルといった本来の学生生活の場所に適応するためのサポートが重要であること。日常で教職員から、ちょっと声を掛けてもらえることがすごく心強く感じる学生も多いこと。この人と話したいなと思ってももらえることが、まずは、繋がる支援の第一歩だという解説がなされました。

また、カウンセラーだけで見ることのできる学生の範囲は限られることから、カウンセラーと教職員が繋がり、支援の輪を拡大することで、より広い範囲の学生に視野を向け、一人の学生に対しても多面的に把握することがポイントだと話されました。

最後に、濱田先生は、カウンセラーが活躍できる場は、個別相談だけではないと言われています。教職員の中には学生支援に、すごく関心を持ってくださる方が多い反面、「私がこんなことを言っても大丈夫なのか」、「私がこんな風にしてもいいのだろうか」など、自信を持てずに一歩前に進めないというような話を伺うこともよく耳にします。学生支援に積極的になりづらい時は、カウンセラーとの繋がりの中で心理職のアプローチの仕方を少しでも知ってもらうことで、教職員の方も今後、学生と関わる時の手立てに見通しが立つのではないかと提言されました。

夏期合同研修会報告

▶期 日 平成26年9月2日(火)～4日(木)

▶場 所 「NASPAニューオータニ」新潟県湯沢町

▶内 容 「多様化する学生支援のあり方について」を統一テーマに開催された。



▲神奈川工科大学・藤村会長より開会のご挨拶。

本年度の研修は、株式会社エンゴシステム代表取締役社長 援川聡氏を講師に迎え「実例で学ぶ！社会でのトラブル・クレマー対策と護身(心)術～“いざ!!”という時の覚悟、あなたは持っていますか？」と題した第103回講演会を皮切りに開催された。

分科会は希望者多数の第2・4・5分科会をそれぞれA班・B班に分け全8分科会とし、各分科会とも事例報告に基づき活発な討議が行われた。各分科会の討議テーマ及び議長は次のとおり。

第1分科会:業務全般に関わる諸問題への対応(発達障害や心身の悩み・からだの悩み等を含む)[議長:小下健彦(明星大学)]

第2分科会:学生の生活支援に関わる諸問題への対応(奨学金、学費減免、学生寮、留学生支援等)[分科会(A)議長:吉岡桃子(桜美林大学)、分科会(B)議長:小川裕(杏林大学)]

第3分科会:学生及び学生保護者の意識の変化にともなうこれからの学生支援と学内連携(学内外との連携、新たな支援の概念、危機管理等)[議長:村山光子(明星大学)]

第4分科会:キャン



▲援川先生の講演の様子。クレマー対策を理論的に解説いただきました。

▼8つの分科会に分かれ、各大学が抱える諸問題への対応策が検討されました。



(A)議長:山口厚樹、分科会(B)議長:小西明徳(二松學舎大学)

第5分科会:課外活動に関わる諸問題への対応(クラブ、サークル、大学祭、行事、自治会、課外教育プログラム、ボランティア活動等)[分科会(A)議長:鈴木隆(神奈川工科大学)、分科会(B)議長:大平卓真(国士館大学)]

本研修会も回を重ねて本年度で48回目の開催となった。48大学から73名の参加があり、2泊3日の研修スケジュールを精力的に消化し有意義な合同研修会となったと思われる。



▲研修会最終日、分科会ごとに討議結果を発表しました。質疑応答も盛んに行われ、充実した発表会となりました。

常任委員会 会議日誌

第1回常任委員会・三役会・留学生部会

期日:平成26年5月23日(金)

場所:神奈川工科大学情報学部棟6F
大会議室

議題:①通常総会の運営について
②その他

第2回常任委員会・三役会・研修WGの開催

期日:平成26年7月18日(金)

場所:東京都市大学世田谷キャンパス

議題:①平成26年度留学生部会の役割分担について
②第48回夏期合同研修会の運営について
③その他

第3回常任委員会・三役会の開催

期日:平成26年9月2日(火)

場所:「NASPAニューオータニ」新潟県湯沢町

議題:「第48回夏期合同研修会」について

第4回常任委員会・三役会の開催

期日:平成26年10月24日(金)

場所:神奈川工科大学ITエクステンション
センター 501ゼミナール室

議題:①「第48回夏期合同研修会」アンケート結果報告
②「第49回夏期合同研修会」JWG会議開催について
③「第49回夏期合同研修会」基本方針案について
④平成26年度「第3回講演会」の開催について
⑤その他

第5回常任委員会・三役会

期日:平成26年11月28日(金)

場所:二松學舎大学九段キャンパス1号館

11階会議室

議題:①平成26年度第3回講演会の役割分担について
②平成27年度常任委員会役割分担について
③平成27年度夏期合同研修会会場視察について
④その他

第6回常任委員会・三役会

期日:平成27年1月23日(金)

場所:神奈川工科大学ITエクステンション
センター 501ゼミナール室

議題:①第49回「夏期合同研修会」会場調査報告について
②平成27年度常任委員会役割分担について
③生連協50周年記念事業について
④平成26年度留学生担当者研修会について
⑤その他